

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

 上記基準日 定時株主総会については3月31日
 その他必要あるときは、あらかじめ公告して臨時に基準日を定めます。

 剰余金の配当受領 期末配当金については3月31日
 株主確定日 中間配当金については9月30日

単元株式数 100株

公告掲載新聞 日本経済新聞

 株主名簿管理人
 及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 (郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 (電話照会先) 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)

証券・銘柄コード 7458

<お知らせ>

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取扱できませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関になっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待のお知らせ

2014年9月30日最終の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様に保有株式数に応じて優待券を贈呈いたします。

所有株式数	優待内容	年2回発行	
		優待券(*1)	CD交換(*2)
100株以上 1,000株未満		500円券×10枚	1枚
1,000株以上		500円券×25枚	2枚

(*1) 当社が運営する「ビッグエコー」店舗、「楽蔵」「ウメ子の家」「びすとろ家」などの飲食店などをご利用いただけます。

(*2) 優待券全額と引き換えを条件に、アルバムCDと交換いただけます。

 贈呈時期：2014年12月4日より送付開始
 有効期間：2015年1月1日～2015年6月30日

株主の皆様のお声を聞かせてください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。


<http://www.e-kabunushi.com>
 アクセスコード 7458



空メールによりURL自動返信

 kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
 アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で簿録(回答カード500円)を贈呈させていただきます


 ※本アンケートは、株式会社 a2media(イー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>) ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

 ●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900 (平日 10:00~17:30)
 「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com

CONTENTS

- 株主の皆様へ
- セグメント別概況
- 連結決算概要
- 会社概要
- 株式の状況

株主の皆様へ



代表取締役社長
林 三郎

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第40期第2四半期（2014年4月1日～2014年9月30日）の決算の状況についてご報告いたします。

当第2四半期におきまして当社グループは、4月に発売を開始した「LIVE DAM RED TUNE」を中心とした万全の商品ラインアップにより、業務用カラオケのすべての市場において順調に「DAM」のシェアを拡大しております。近年、力を入れておりますエルダー事業（高齢者向け事業）も堅調に推移しており、「DKエルダーシステム」を導入する施設は15,000カ所を突破し、新たな柱として業務用カラオケ事業の安

定成長に貢献しています。

一方で、カラオケルーム「ビッグエコー」とダイニングバーを主とする飲食店舗の新規出店を積極化しており、当社グループの成長ドライバーとしてその事業規模を拡げています。

当社は、社是である「もっと音楽を世に もっとサービスを世に」を事業活動として実践することにより、カラオケ事業を中心に着実に業容を拡大してまいりました。今後もカラオケ業界におけるリーディングカンパニーとして、さらなる事業基盤の充実強化に努めてまいります。

株主の皆様のご期待に応えられるよう、全社一丸となって精進してまいりますので、引き続きのご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当第2四半期の概況

当第2四半期におけるわが国経済は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減に加え、7月および8月の台風や豪雨の悪天候による個人消費の落ち込みや物価上昇の懸念など、依然として予断を許さない状況が続いております。

当カラオケ業界におきましては、ナイト市場の店

舗減少傾向が続くものの、カラオケボックス市場においては、大手事業者の出店意欲は旺盛であり、カラオケルーム数は増加基調にあります。また、成長が期待されるエルダー市場の堅調な拡大もあり、市場全体のカラオケ稼働台数は微増で推移しております。

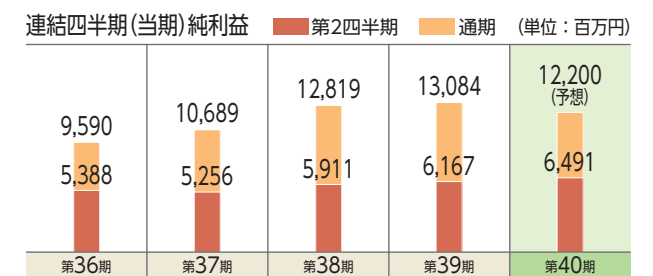
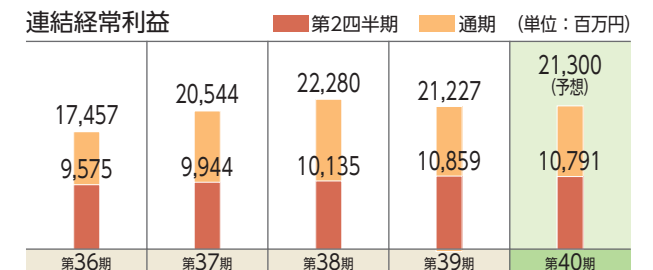
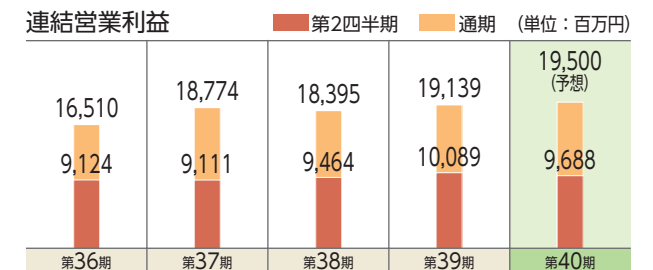
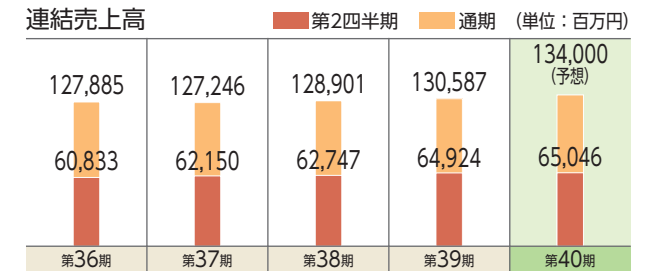
このようななか、各事業におきまして諸施策を実施した結果、当第2四半期の業績は、売上高は65,046百万円（前年同期比0.2%増）、営業利益は9,688百万円（同4.0%減）、経常利益は10,791百万円（同0.6%減）、四半期純利益は6,491百万円（同5.3%増）となりました。また、売上高と四半期純利益は、当第2四半期における過去最高を更新いたしました。

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、2014年5月12日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。売上高134,000百万円、営業利益19,500百万円、経常利益21,300百万円、当期純利益12,200百万円を見込んでおります。

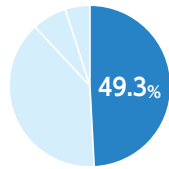
To Our Shareholders

連結財務ハイライト



セグメント別概況

業務用カラオケ事業



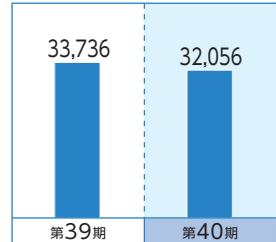
売上高 **32,056** 百万円 (前年同期比 5.0%減)

営業利益 **7,244** 百万円 (前年同期比 1.1%減)

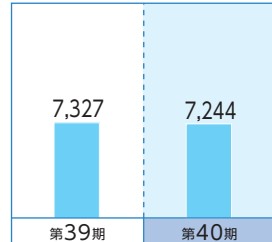
当事業におきましては、商品面では市場より高い支持を得ているLIVE DAMシリーズの第三世代機種「LIVE DAM RED TUNE」を本年4月に発売し、商品ラインアップの充実を図りました。また、営業面ではストック型ビジネス構造の強化を継続して推進し、機器賃貸の出荷比重を高めることに加え、エルダー市場の拡充などの施策を強化しました。その結果、安定収益源となるDAM稼働台数および機器賃貸契約件数は順調に増加いたしました。

しかしながら、前期の大手事業者向け取引が剥落したことにより、売上高は前年同期比5.0%減少し、営業利益は前年同期比1.1%の減少となりました。

第2四半期売上高 (単位:百万円)



第2四半期営業利益 (単位:百万円)



TOPICS (業務用カラオケ事業)

◆キッズ&ファミリー向けコンテンツの強化

新商品「LIVE DAM RED TUNE」の発売に伴い、オールジャンルでコンテンツを強化。特にキッズ&ファミリー向けコンテンツを拡充しています。低年齢児に人気の「おかあさんといっしょ」の楽曲や映像を大量配信。このほか、「妖怪ウォッチ」や「仮面ライダー鎧武/ガイム」「ドキドキ!プリキュア」「トミカ・プラレールのうた」などキッズが好む曲や映像を続々と配信しています。これによりご家族でのカラオケ利用を促進し、幅広い年齢層の方々に身近なレジャーとしてカラオケに慣れ親しんでいただきたいと思います。



「おかあさんといっしょ」イメージ ©NHK

◆DKエルダーシステム 導入施設15,000カ所を突破

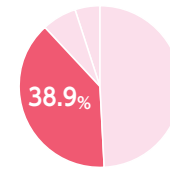
高齢者の「口腔・運動・認知」機能の改善を支援する「DKエルダーシステム」の導入施設が、2014年9月で15,000カ所を突破しました。これは、営業体制の強化が結実したこともありますが、やはり「健康」に対するニーズが高まっていることの表れだといえます。

今後も市場拡大が期待されるエルダー事業にご期待ください。



DKエルダーシステム推奨機 [FREE DAM]

カラオケ・飲食店舗事業



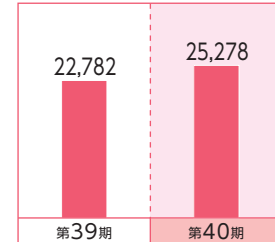
売上高 **25,278** 百万円 (前年同期比 11.0%増)

営業利益 **3,229** 百万円 (前年同期比 4.0%増)

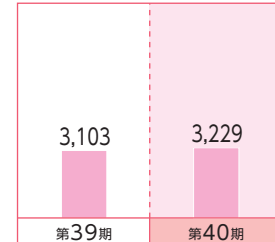
当事業のカラオケルームにおきましては、新店開発および幅広い顧客を取り込むためのマルチブランドと複合型店舗展開を進捗させました。業界初となる「コンビニエンスストア+カラオケルーム」一体型の新業態店舗への出店という新たな挑戦に加え、人気アーティストなどのコラボルームの開発にも注力いたしました。飲食店舗におきましては、市場や顧客ニーズの変化に迅速・的確な対応を図るため、地域性や客層に合わせた業態開発に注力いたしました。

以上の結果、本年2月に取得した子会社2社の収益の寄与に加え、新店効果や既存店の改善により、売上高は前年同期比11.0%増加し、営業利益も前年同期比4.0%の増加となりました。

第2四半期売上高 (単位:百万円)



第2四半期営業利益 (単位:百万円)



TOPICS (カラオケ・飲食店舗事業)

◆「ビッグエコー」業界初の400店舗突破

2014年12月にカラオケルーム「ビッグエコー」は業界初の400店舗を突破します。

現在、ビッグエコーは業界トップの店舗数を誇りますが、今後も出店を加速させることで、事業規模の拡大とDAMシェアの向上を図り、カラオケのリーディングカンパニーとしての地位を確固たるものにしてまいります。

また、事業の拡大に併せて、人材教育による質の向上を図り、店舗数だけでなく顧客満足度においても業界No.1ブランドを目指します。

カラオケルームにおいては、ラグジュアリーで高級感のある「BIG ECHO」、おトクでカジュアルな「ビッグエコー」の2つのブランドに加え、持ち込み自由なセルフカラオケ店舗を展開することでさまざまなロケーションに対応し、幅広い層のお客様を獲得することを目指します。

今後も、ビッグエコーでのカラオケを笑顔でお客様に楽しんでいただけるよう、さらなるサービスの充実に努めてまいります。



ラグジュアリーで高級感のあるビッグエコー



おトクでカジュアルなビッグエコー

FamilyMart + カラオケ DAM



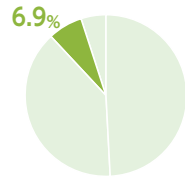
セルフカラオケ (持ち込み自由)
コンビニ一体型店舗
カラオケ CLUB DAM



セルフカラオケ (持ち込み自由)
カラオケ単独店舗 (近隣にコンビニ等がある立地)
Happy Party
Produced by BIG ECHO

セグメント別概況

音楽ソフト事業



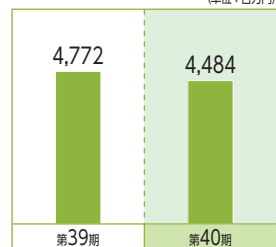
売上高 **4,484** 百万円 (前年同期比 6.0%減)

営業利益 **33** 百万円 (前年同期比 91.8%減)

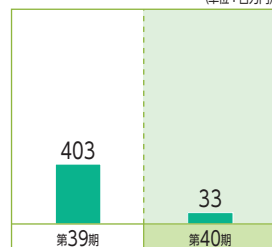
当事業におきましては、「北島三郎」や「水森かおり」など安定した演歌作品に加えて、「ソナーポケット」や「愛乙女★DOLL (らぶりーどーる)」などの若手作品とスタジオジブリ映画「風立ちぬ」のDVD作品が貢献いたしました。

以上の結果、リリース予定作品の延期や中止などもあり、売上高は前年同期比6.0%減少し、営業利益については原価率の高いDVDなどの映像作品の販売比率が上昇したことにより、前年同期比91.8%の減少となりました。

第2四半期売上高 (単位:百万円)



第2四半期営業利益 (単位:百万円)



TOPICS (音楽ソフト事業)

話題のアーティストをご紹介します

◆POPS

ななみ



アマチュア音楽コンテスト「The 6th Music Revolution JAPAN FINAL」(2013年)でグランプリに輝いたシンガーソングライターななみのデビューシングル「愛が叫んでる」がe-stretch RECORDSより発売されました。コンテスト応募用にわずか30分で書き上げ、全国グランプリに輝き、デビュー作にしてLA

の超一流ミュージシャン達とのセッションの中で制作されるという幸運にも恵まれた「奇跡」の楽曲で、大ブレイクを目指します。



◆演歌・歌謡曲

松原のぶえ

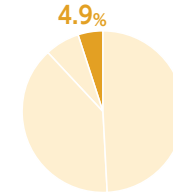


今年でデビュー35周年を迎えた松原のぶえは、女性演歌歌手を代表する実力派の一人として、たくさんの皆様からご声援をいただいております。

新曲「合掌街道」は、喜多條忠・小田純平の初コンビによる久しぶりのご当地演歌。岐阜県白川郷と富山県五箇山の合掌造り集落を結ぶ「合掌街道」が舞台の、今までの松原メロディーとは一味違う歌謡曲タッチの楽曲です。



その他の事業



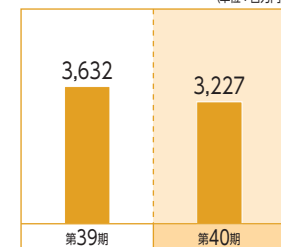
売上高 **3,227** 百万円 (前年同期比 11.2%減)

営業利益 **568** 百万円 (前年同期比 17.8%減)

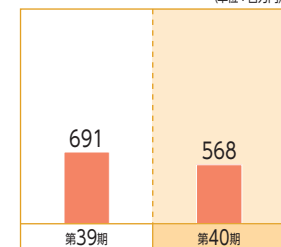
当事業におきましては、BGM放送事業において光回線を活用したBGM放送サービス「スターデジオ光」の拡販に努めるほか、NTT西日本と連携し家庭で高品質なカラオケを楽しめる「光カラオケBOX+@DAM」を、本年7月より提供開始するなど、サービスの拡充を図っております。

しかしながら、着メロなどの携帯電話向けサービスが低調に推移したことや、昨年10月にホテル1棟を売却したことにより、売上高は前年同期比11.2%減少し、営業利益は前年同期比17.8%の減少となりました。

第2四半期売上高 (単位:百万円)



第2四半期営業利益 (単位:百万円)



TOPICS (その他の事業)

コンシューマ向けサービスとして新たに2種類のストリーミングカラオケの提供を開始しました

1. 光カラオケBOX+@DAM(7/1サービス開始)

NTT西日本との共同開発で、コンシューマ向けカラオケアプリ「光カラオケBOX+@DAM」のサービスを開始しました。これはNTT西日本製セットトップボックス「光BOX+」で業務用通信カラオケ「LIVE DAM」の音源をストリーミング配信するサービスです。自宅ですぐにカラオケの練習ができ、友人や家族とのコミュニケーションにも役立つとたいへん好評です。

10万曲以上の曲を楽しむことができ、月額500円(税別)とリーズナブルにご利用できます。



2. Xbox One「カラオケ@DAM」(11/18サービス開始)

日本マイクロソフトとの共同開発で、家庭用ゲーム機「Xbox One」専用カラオケアプリ「カラオケ@DAM」のサービスを開始しました。「LIVE DAM」の音源や映像に加え、テレビでおなじみの「精密採点DX」をアレンジした「精密採点ONE」を搭載。自宅で本格的な採点ゲームを楽しむことができます。こちらも10万曲以上

の曲を用意し、24時間で300円(税別)もしくは30日間で1,000円(税別)の利用チケットをXbox One本体から購入することご利用できます。



業務用カラオケ事業で培ってきた「DAM」ブランドのさらなる認知向上と、カラオケ店へカラオケユーザーを誘引することを目指してあらゆるサービスを拡充しています。より一層のご理解と応援をお願い申し上げます。

連結決算概要

▶ 詳細な財務情報は、当社

ホームページ「株主・投資家情報」<http://www.dkkaraoke.co.jp/stockinfo/>をご覧ください。

■連結貸借対照表の要旨(第2四半期)

(単位：百万円)

科目	第39期 2014年3月31日現在	第40期第2四半期 2014年9月30日現在
資産の部		
流動資産	63,729	72,189
固定資産	97,857	100,823
有形固定資産	55,679	58,774
無形固定資産	7,691	7,521
投資その他の資産	34,486	34,528
資産合計	161,587	173,013

負債の部

流動負債	26,647	24,303
固定負債	32,670	42,388
負債合計	59,318	66,692

純資産の部

株主資本	101,270	105,568
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	4,001	4,001
利益剰余金	84,926	89,225
自己株式	△ 7	△ 8
その他の包括利益累計額	△ 156	△ 426
その他有価証券評価差額金	1,172	810
土地再評価差額金	△ 777	△ 777
為替換算調整勘定	51	93
退職給付に係る調整累計額	△ 602	△ 552
少数株主持分	1,153	1,178
純資産合計	102,268	106,321
負債及び純資産合計	161,587	173,013

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第39期	第40期第2四半期
1. 保証債務	19百万円	7百万円
2. 1株当たり純資産額	1,736円70銭	1,812円11銭

POINT

●流動資産

流動資産の増加8,460百万円は、現金及び預金の増加8,143百万円、その他に含まれる前払費用の増加962百万円、受取手形及び売掛金の減少504百万円、たな卸資産の減少407百万円が主なものであります。

●固定資産

固定資産の増加2,965百万円は、その他に含まれる建設仮勘定の増加1,382百万円、カラオケ賃貸機器の増加1,236百万円、投資有価証券の減少587百万円が主なものであります。

●流動負債

流動負債の減少2,344百万円は、未払法人税等の減少785百万円、未払金の減少759百万円、支払手形及び買掛金の減少439百万円が主なものであります。

●固定負債

固定負債の増加9,717百万円は、長期借入金の増加10,066百万円、退職給付に係る負債の減少488百万円が主なものであります。

■連結損益計算書の要旨(第2四半期)

(単位：百万円)

科目	第39期第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	第40期第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
売上高	64,924	65,046
売上原価	37,522	38,535
売上総利益	27,402	26,511
販売費及び一般管理費	17,312	16,823
営業利益	10,089	9,688
営業外収益	1,203	1,312
営業外費用	433	209
経常利益	10,859	10,791
特別利益	3	187
特別損失	202	159
税金等調整前四半期純利益	10,660	10,819
法人税、住民税及び事業税	4,765	4,685
法人税等調整額	△ 325	△ 387
少数株主損益調整前四半期純利益	6,220	6,521
少数株主利益	52	29
四半期純利益	6,167	6,491

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

<注記事項>	第39期第2四半期	第40期第2四半期
1株当たり四半期純利益	103円27銭	111円75銭

■連結キャッシュ・フロー計算書の要旨(第2四半期)

(単位：百万円)

科目	第39期第2四半期 2013年4月1日から 2013年9月30日まで	第40期第2四半期 2014年4月1日から 2014年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,746	11,442
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 9,109	△ 10,804
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,503	7,071
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 24	66
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,108	7,775
現金及び現金同等物の期首残高	41,963	44,381
現金及び現金同等物の四半期末残高	43,071	52,156

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

POINT

●売上高

業務用カラオケ事業の大手事業者向け取引の剥落や、音楽ソフト事業の販売不振により、それぞれ減収となったものの、カラオケ・飲食店舗事業が前期に取得した子会社の寄与や既存店の改善などにより、前年同期比0.2%増加の65,046百万円となり、第2四半期における過去最高を更新いたしました。

●営業利益・経常利益

カラオケ・飲食店舗事業が増益となったものの、音楽ソフト事業とその他の事業などが減益となったことから、営業利益は前年同期比4.0%減少の9,688百万円、経常利益は同0.6%減少の10,791百万円となりました。

●四半期純利益

営業利益・経常利益は減少したものの、法人税等の税負担の減少から、前年同期比5.3%増加の6,491百万円となり、過去最高を更新いたしました。

POINT

●営業活動によるキャッシュ・フロー

・税金等調整前四半期純利益	10,819百万円
・減価償却実施額	6,554百万円
・売上債権の減少額	503百万円

●投資活動によるキャッシュ・フロー

・有形固定資産の取得による支出	7,693百万円
・無形固定資産の取得による支出	2,052百万円
・映像使用許諾権の取得による支出	985百万円

●財務活動によるキャッシュ・フロー

・長期借入れによる収入	11,430百万円
・配当金の支払額	2,037百万円
・長期借入金の返済による支出	1,907百万円

会社概要 (2014年9月30日現在)

会社概要

商号	株式会社 第一興商 (英文表記) DAIICHIKOSHO CO., LTD.
所在地	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 電話 (03) 3280-2151 (大代表)
設立	1973年4月16日
資本金	12,350百万円
従業員数	当社 1,579名 グループ 3,164名
JASDAQ上場	1995年9月19日

役員 (2014年9月30日現在)

名誉会長	保志忠彦
代表取締役社長	林三郎
専務取締役	兼上席執行役員 根本賢一
専務取締役	兼上席執行役員 熊谷達也
専務取締役	兼上席執行役員 三富洋
常務取締役	兼上席執行役員 保志忠郊
常務取締役	兼上席執行役員 村井裕一
常務取締役	兼上席執行役員 和田康孝
取締役	兼執行役員 渡邊泰人
取締役	兼執行役員 三宅彰
取締役	兼執行役員 竹花則幸
取締役(非常勤)	吉川満
取締役(非常勤)	清水義美
常勤監査役(社外)	鶴岡通敏
常勤監査役(社外)	大塚信明
常勤監査役	高瀬信行
監査役(社外)	有近真澄
執行役員	小椋久広
執行役員	吉澤明人
執行役員	小林成樹
執行役員	國津洋
執行役員	大塚賢治
執行役員	保志治紀
執行役員	有馬修
執行役員	戸塚圭介

第一興商グループ 当社および連結子会社

39社



主な事業内容

業務用カラオケ事業
カラオケ・飲食店舗事業
音楽ソフト事業

国内販売子会社 24社

(株)北海道第一興商	(株)城北第一興商	(株)東海第一興商
(株)東北北海道第一興商	(株)台東第一興商	(株)北陸第一興商
(株)北東北第一興商	(株)城東第一興商	(株)京都第一興商
(株)東北第一興商	(株)城西第一興商	(株)第一興商近畿
(株)常磐第一興商	(株)湘南第一興商	(株)京阪第一興商
(株)群馬第一興商	(株)新潟第一興商	(株)兵庫第一興商
(株)栃木第一興商	(株)長野第一興商	(株)九州第一興商
(株)埼玉第一興商	(株)静岡第一興商	(株)沖縄第一興商

その他国内子会社 12社

(株)ディーケーファイナンス	(株)第一興商音楽出版
日本クラウン(株)	(株)ズームリパブリック
(株)徳間ジャパンコミュニケーションズ	ユニオン映画(株)
クラウン徳間ミュージック販売(株)	丸萩洋酒工業(株)
(株)クラウンミュージック	(株)アドバン
(株)トライエム	(有)ゴールド

海外子会社 3社

(株)韓国第一興商	第一興商電子貿易(上海)有限公司
第一興商(上海)電子有限公司	

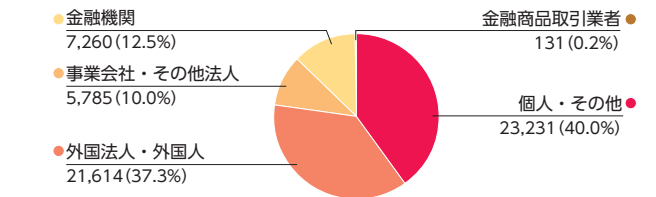
株式の状況 (2014年9月30日現在)

■発行可能株式総数	200,000,000 株
■発行済株式の総数	58,025,000 株
■株主数	16,226 名
■大株主	

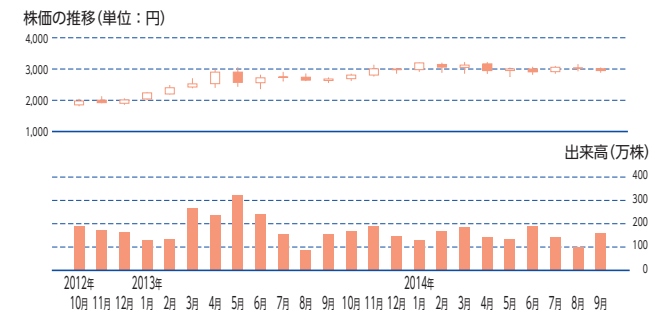
株主名	持株数 (株)	所有割合 (%)
保志忠郊	6,246,000	10.76
保志治紀	6,119,600	10.55
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	5,299,475	9.13
(株)ホシ・クリエート	2,449,800	4.22
アサヒビール(株)	2,120,000	3.65
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	1,689,000	2.91
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) RE 15PCT TREATY ACCOUNT	1,386,700	2.39
三菱UFJ信託銀行(株)	1,148,000	1.98
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,093,600	1.88
ジェーピー・モルガン・チェース・バンク 385632	1,002,800	1.73

(注)当社は2,766株の自己株式を保有しております。

■所有者別株式分布 (単位:千株/構成比)



■株価(月足)チャート



ホームページのご案内

投資家の皆様に役立つ情報やビッグエコーの最新情報、DAM★とも情報などを掲載しております。ぜひアクセスしてください。

URL <http://www.dkkaraoke.co.jp/>

オフィシャルサイト



ビッグエコー



DAM★とも

<http://big-echo.jp/>



DKエルダーシステム

<http://www.clubdam.com/damtomo/>



<http://dk-eldersystem.com/>

上記画面は2014年10月末日現在